



桜っ子だより

北第二小学校
学校通信
R7.10.16
No.6

全国学力・学習状況調査分析について

4月17日に、全国学力・学習状況調査が行われました。本校でも6年生が、国語、算数、理科、児童質問紙の調査を受けました。国（文科省）から結果が示されました。全国の平均と比較して、本校の結果分析と対応策をお知らせします。○は、よかったところ、●は課題となっているところです。

国語

○全体的に正答率は、全国平均より高い結果を得ることができました。特に、「書くこと」の領域では全国平均をかなり上回る正答率を得ることができました。また、「読むこと」の領域の中で、空欄に入る言葉を資料の中から書き抜く問題では、9割近い正答率を得ることができました。

授業の中で、自分の意見を根拠を明らかにして書くことを徹底したり、「書く」領域の単元について丁寧に指導したり、日頃から学校生活の様々な場面で作文を書く取り組みを積み重ねてきた成果であると考えます。今後も、「書く」場面をできるだけ多く設定し、自分の考えや思いを文章に表現することを通して、さらに表現力を高めていけるように努めていきます。

●「読むこと」の領域の中で、必要な情報を適切に選び相手に伝えることができるかどうかをみる問題では、全国平均より低い正答率でした。また、目的や相手に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりすることについて課題が見られました。

今後は授業の中で、目的や相手意識を明確に示したり、集めた情報を内容ごとにまとめたりして、必要な情報を適切に選び相手に正しく伝えることができるように指導していきます。また、総合的な学習の時間など他教科での調べ学習を通して、情報を集めたり目的に応じて情報を取捨選択したりすることについての経験を積ませていきたいと考えます。



算数

○全体的に正答率は、全国平均より高い結果を得ることができました。特に、「資料から必要な情報を選び式と答えを書く」「数直線上に示された数を分数で書く」「資料から必要な事柄を判断し求め方を書く」問題については、全国平均をかなり上回る正答率を得ることができました。

問題場面を具体的に捉えたり、具体物を操作するなどの算数的活動をしたり、数直線やグラフなどの読み取り方を丁寧に扱ったりするなど問題解決の素地となる知識・技能、思考・判断の仕方を積み重ねてきた成果と考えます。今後も、日常生活や身近なことと関連付けて問題を捉え、解決の拠り所となる数学的な見方や考え方を習得・定着できるように指導していきます。

●「適切なグラフを選びそのわけを書く」問題については、全国平均より低い正答率でした。選んだ理由を2つ書くのが必須の問題でしたが、理由を1つしか書けない児童が多く見られました。

今後は授業の中で、思考の根拠を明らかにする場面では、図や式を基にしながら、友達に説明する活動を通して説明や記述ができるように指導していきます。また、日常生活を絡めながら、活用できる数学的な見方・考え方を意識して知識・技能を習得させるとともに、実際にデータの収集、分類整理、表や適切なグラフに表すなどの活動を取り入れ、データを言葉と数を使って表現する力を身に付けられるように指導していきます。また、社会科など他教科との関連を意識させることも重視していきます。



理科

○全体的に正答率は、全国平均より高い結果を得ることができました。特に、「地球」を柱とする領域に関わる問題で8割を超える高い正答率でした。

課題解決の際に、既習事項やこれまでの経験をもとに予想を考え、観察や実験を行い、考察し、まとめる学習を繰

り返し積み重ねた成果と考えます。今後も、身の回りの現象に興味関心をもち、課題と関連付けて捉え、見通しをもって解決することを継続し、理科に関わる知識・技能を習得し、科学的な考え方が身に付くように努めます。

●「赤玉土の大きさによる水のしみこみ方の違いをまとめたわけについて実験の結果を用いて記述する」問題が全国平均より低い正答率でした。

課題に対するまとめを導く際に、観察・実験の結果を基に根拠となる事実を明らかにしてまとめる活動を重視し、科学的に考え表現する力が身に付くように努めます。



児童質問紙（生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査）

〈全国と比較して、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童が多かった項目〉

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。
- 新聞を読んでいますか。
- 読書は好きですか。
- PC・タブレットなどのICT機器を使うことについて
 - ・文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができる。
 - ・インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる。
 - ・情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる。
 - ・学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる。
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて
 - ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
 - ・分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。
 - ・楽しみながら学習を進めることができる。
 - ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。
 - ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
 - ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
 - ・友達と協力しながら学習を進めることができる。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

〈全国と比較して「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」と答えた児童が多かった項目〉

- 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- 総合的な学習の期間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。

特に、「いじめは、どんな理由があってもいけないことである。」という質問に対して、全員の児童が、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えています。今後も分かっていることを行動で表せるように、児童一人一人を大切にしていけるように努めていきます。また、児童の声によく耳を傾け、よいところを認めて称賛していきように心がけていきます。

ICT機器を活用することに関心が高い児童が多いようです。タブレットを使用して、情報の整理、プレゼンテーション、情報収集を積極的に行い、自分の意見を分かりやすく伝えたり、友達と意見を共有したり比べたりすることに効果があると感じているようです。これからも、ICT機器の効果的な活用を考えていきます。また、読書をしたり、

新聞を読んだりすることが好きな児童が多いようなので、読書活動をさらに充実していけるように努めていきます。

話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたり、お互いに協力して課題の解決方法を決めたりできている児童が多いようです。これからも、授業などで話し合い活動の充実に努めていきます。一方で、「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動をしていた」「自分にあった考え方、教材、学習時間になっていた。」「授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。」などの質問については課題があることが分かりました。今後の指導については、「教師が一人一人の児童の学びに根気強く付き合い、『分かる』『できる』に導いていく」「話し合い・調べ学習がよくできているという児童の学びの姿を踏まえて、学習計画を立案する」ことに努めていきます。

本調査は、6年生が実施したのですが、1年生から5年生までの学力や学習の定着状況を知るためのものです。今後、この結果を生かして児童のよいところをさらに伸ばし、課題となっているところは、学校全体で子供達とともに考えながら取り組んでいきます。これからも、家庭や地域のお力を借りながら「一人一人の笑顔が輝く北第二小学校」をめざしていききたいと思います。ご理解とご協力をお願い致します。